

おかえり!/

陸羽西線が再開しました



△余目駅



△狩川駅



△清川駅

■ 土交通省による国道47号「(仮)高屋トンネル」工事により、列車運転を休止していた陸羽西線。令和8年1月16日(金)に、約3年8か月ぶりの列車運転を再開しました。列車運転再開日には、余目駅・狩川駅・清川駅の3駅に計180人の町民のみなさんと関係者が集い、陸羽西線の運転再開を歓迎しました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

陸羽西線の利用状況

陸羽西線は庄内と内陸を結ぶ重要な交通インフラであり、地域経済を支える生命線です。また、太平洋側の鉄道網とのダブルネットワークを形成し、災害時の物資輸送や迅速な対応を図る上でも重要な路線です。しかしながら、JR東日本が開示する「ご利用の少ない線区の経営情報(2024年度分)」によると、1日あたりの平均利用者数は117人。大量輸送を得意とする鉄道では、1日あたりの平均利用者数は2,000人としていることを踏まえれば、決して良いとはいえない状況です。

※代行バス輸送期間

陸羽西線を守り育てていくために

この運転再開を機に沿線自治体や地域が一体となって、陸羽西線を守り、育っていくことが重要です。さらに、山形新幹線の庄内延伸について議論されている今、陸羽西線が私たちの暮らしや観光輸送において、不可欠であることを示していく必要があります。鉄道利用には、さまざまなメリットがあります。

県は、鉄道の利用拡大の取り組みや駅周辺の賑わい創出を「やまがた鉄道沿線活性化助成金」で支援しています。青空広場コーディネーターの坂本慶治さんは「ゆめりあ鉄道ギャラリーでは、0系新幹線の電動遊具に立たれたり、プラレールを組み立てたりと、楽しそうに過ごしていました。来年度以降も、鉄道を使ったイベントを予定しています」とイベントを振り返りました。



陸羽西線の利活用

やまがた鉄道沿線活性化助成金



やまがた鉄道沿線活性化助成金は、駅前でのイベン
トの拡充や人が集まる施設の整備、観光利用の促進などに取り組む団体の創出および活動支援のため、助成金を交付しています。例えば、新幹線や在来線特急を利用した輸送サービス「はこビュン」を活用し、首都圏の人気商品を取り寄せ、マルシェで販売した事例もあります。ほかにも鉄道関連した沿線特産品の開発や駅周辺の美化活動も、支援しています。詳細については、二次元コードをご覧ください。

陸羽西線再開記念イベント「Welcome Music&抽選会」

●日時：2/28(土) 11:00～15:00

●場所：余目駅

●内容：

- ・ハーモニカ奏者、寺澤ひろみ氏による歓迎演奏(11:05頃～11:30頃)
- ・当日に鉄道を利用した方へ、抽選で商品券やお菓子をプレゼント(数に限りがあります)
- ・JRのこども駅長制服を着て、記念撮影

■問合せ：企画情報課企画調整係 0234-43-0802



寺澤ひろみさん

鉄道利用のメリット

- 1、決まった時刻に出発・到着できる
- 2、移動時間を有効活用できる
- 3、環境に優しい
- 4、安全・安心に移動できる

